

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 地図資料活用推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111(内291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,769 千円 (前年度予算額： 1,769 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,769	0	0	0	0	0	200	0	1,569
要求額	1,769	0	0	0	0	0	200	0	1,569
決定額	1,769	0	0	0	0	0	200	0	1,569

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

所蔵する地図資料の保存と利活用のため、地図のデジタル化を進めるなど、地図資料を県民が利活用しやすい環境を整えるとともに、市町村図書館などの関係機関との連携を深める必要がある。

また、児童・生徒の地図活用能力育成を目的に地図教室、地図作品展を開催する。これまで全国展に出品した岐阜県の地図作品の多くが大臣賞や審査員特別賞を受賞している。

(2) 事業内容

1. 地図資料の提供
一般県民、研究者、郷土史家、県内市町村図書館、行政、報道機関、雑誌出版社等
2. 地図作品展開催事業
夏休み小学生わくわく地図教室の開催
児童生徒地図作品展の開催
3. 地図活用・保管事業
「地図活用研究会」において作成したコンテンツ等の活用
4. 地図資料のデジタル化とホームページの充実
学校教育や社会教育で活用できる地図資料のデジタル化等
5. 出前授業の実施
児童生徒を対象とした地図資料を活用した授業の実施
教職員を対象とした地図資料の活用方法等の研修

(3) 県負担・補助率の考え方

後援・協賛団体より計20万の補助金を受ける予定。残りは県負担。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	152	審査委員、講師等旅費
需用費	879	消耗品費、印刷製本費、会議費
役務費	35	郵送料、著作権処理
委託料	703	地図デジタル化委託料
合計	1,769	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4次岐阜県教育ビジョン 施策 I-4 「ふるさと岐阜」での活動を通して学ぶふるさと教育の推進

(2) 事業主体及びその妥当性

県民の古地図への興味関心は高くなりつつある。地図資料の作製や地図資料のデジタル化は、災害対策や町並み保存等、県民や行政の利活用に役立っている。

また、児童生徒地図作品展は、地図に対する活用能力等を高める教育支援事業として定着している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地図作品展や地図教室を開催することにより、地図に対する興味や関心、活用能力を高められる環境を提供する。また、地図資料のデジタル化や教育現場との連携を進めて、社会教育や学校教育に役立つ利活用環境を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	
					達成率	
①地図作品展応募校数(H28～累)	(H7) 0校	862校	985校	1105校	1350校	64%
②地図資料レファレンス件数(H28～累)	(H7) 0件	2383件	2562件	2742件	3100件	77%
③地図資料のデジタル化点数(累計)	(H12) 0点	3101点	3163点	3225点	3349点	93%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	(1) 地図資料のデジタル化、デジタル化した資料の複製提供 (2) 児童生徒地図作品展の開催 会期：令和4年10月29日(土)～11月20日(日)
令和5年度	(1) 地図資料のデジタル化、デジタル化した資料の複製提供 (2) 児童生徒地図作品展の開催 会期：令和5年11月11日(土)～11月26日(日)
令和6年度	(1) 地図資料のデジタル化、デジタル化した資料の複製提供を継続 (2) 児童生徒地図作品展の開催 会期：令和6年10月26日(土)～11月17日(日)

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>地図作品展は児童生徒の地図活用能力等高められる教育支援事業として定着している。コロナ禍を経てデジタルサービスへの関心が高まっており、地図資料のデジタル化をさらに推進する必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>地図作品展には毎年多数の応募があり、全国児童生徒地図優秀作品展では、令和元年度まで、岐阜県の作品が13年連続して大臣賞(最優秀賞)や審査員特別賞を受賞。作品の質は全国的にも高い。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	<p>地図作品展のポスターの作成や記録集作成のための受賞作品の写真撮影を担当者が行うなど経費の削減に努めた。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 地図作品展では、より多くの学校や児童生徒から応募があるよう、市町図書館などの関係機関との連携を深める必要がある。地図資料の活用では、デジタル化した地図資料を教育現場が利活用しやすい環境を整える必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民の古地図への興味関心は高く、また、地図資料の利活用は教育支援事業としての必要性が高い。また、ふるさと教育等、地域の歴史・文化を知るための情報発信に努める。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】